



Journal

第2号

2025(R7)年4月7日
山形県立寒河江高等学校

新聞部

令和7年度 寒河江高校入学式

未来を咲かせる157個の蕾

「新たな自分芽生えのとき」

4月7日(月)、本校体育館にて令和7年度入学式が行われた。今年度は新入生157名が寒高の新たな一員となった。昨年度同様、保護者の入場人数制限も無く、多くの保護者に見守られながら新入生の高校生活が始まった。



新入生を代表して宣誓をする加藤咲菜さん(1-1)

校地内の校の蕾も膨らみだした4月7日(月)、本校体育館にて令和7年度入学式が行われた。

1年次主任の横山哲先生を先頭に担任団8名及び新1年次157名探究コース40名、一般コース117名が入場し、新たに寒高生となった。

新入生はやや緊張した様子だったが、その表情には新生活への希望や志が表れていた。

新入生宣誓

『自らの手で 夢や目標へ』

新入生代表の宣誓を行った加藤咲菜さん(1-1)は、「これからの寒高での三年間は中学校とは異なり、自らの手で夢や目標に向かって歩み続けることとなります。時として、その道は決して平坦なことではなく、苦難に陥ることもあるでしょう。そのような時には、周りに座っている友人や先輩方、



式辞を述べる相澤校長

『疾風勁草を知る』とは、激しい風が吹くとはじめて風に倒れない強い草の存在がわかる。よって、困難に出会って苦しみや悩むことがあった時、初めて節操の堅いこと、意志の強いことがわかるという意味です。

先生方の助けが必要で、学習においてももちろん、部活動や生徒会活動など、何事にも積極的に取り組み、一日も早く先輩方に追いつけるよう努力を怠らないことを誓います。この体育館の外側には大きく次の言葉が書いてありました。『未来開拓 次代のチカラ寒高』。私たちはこの言葉を実践するべく、諸先輩方が築いてきた誇りを受け継ぎ、さらに次世代のリーダーとして地域や世界に羽ばたけるよう、切磋琢磨しながら



堂々と入場する1年3組

これからの自分達の未来を開拓していきます。」と新生活への意気込みを述べた。

式辞

『自分の未来は自分で切り拓く』

相澤校長先生は式辞で「高校生活をスタートする皆さんに大切にしたいことがあります。それは、『自分の未来は自分で切り拓く』という強い決意をもって高校生活をスタートして欲しいということです。」

寒河江高校の学習内容は大学進学を目指すカリキュラムで学習します。部活動も、県レベルはもちろん、東北・全国レベルの大会や発表会への出場を目標に取り組んでいます。

高校生活で、苦しくなった時や目標を失いそうになった時に思い出してほしい言葉があります。それは、『疾風勁草を知る』という言葉です。



芯のある声で返事をする1年4組

寒河江高校で、勉強や部活動をすればするほど、あるいは人と人との交流経験が広がり深くなればなるほど、皆さんは、自分の弱さや未熟さに直面するかもしれません。そんな時、『疾風勁草を知る』と心に刻み、弱い自分を

式は、春の暖かさに包まれながら無事に閉じられた。今日から新しい仲間、先生方と共に157名の高校生活が始まる。彼らの未来に期待したい。

未熟な自分に謙虚に向き合い、自らの努力で乗り越えること、仲間と力を合わせることを期待します。そうした高校時代の努力が、皆さんを成長させ、皆さんの未来を切り拓くでしょう。」と新入生に励ましの言葉を送った。

一年次担任団紹介 素敵な寒高LIFEを



上段左から：真田先生・渡辺先生
佐藤先生・大友先生
下段左から：横山先生・熊谷先生
武田先生・石川先生

- 学年主任：横山哲先生(理生)
1組担任：熊谷理子先生(英語)
2組担任：真田隆志先生(地歴)
3組担任：渡辺奏先生(数学)
4組担任：佐藤遼先生(保体)
副担任：石川憲子先生(国語)
副担任：大友康平先生(数学)
副担任：武田美桜先生(音楽)